

フィンランド共和国陸上風力発電事業への参画について ～ピーパリンマキ陸上風力発電事業～

2020年4月27日
関西電力株式会社

当社は、フィンランド共和国において、現在建設中のピーパリンマキ陸上風力発電事業に参画するため、4月27日、グレモントパートナーズ社と株式売買契約を締結しました。

具体的には、発電特別目的会社であるイルマタール・ピーパリンマキ社（以下、ピーパリンマキ社）^{※1}の100%持株会社であるグレモントクリーンエナジーファンド III Wind B.V. 社の株式を、当社子会社であるケーピック・ネザーランド社^{※2}を通じて15%取得するものです。

ピーパリンマキ社は、現在ヘルシンキの北約450kmの内陸部に、大型陸上風力発電機を41基（総発電容量約21万kW）建設中で、2021年に商業運転を開始する予定です。フィンランド共和国では積極的に陸上風力発電を導入しており、本発電所の運転開始時には、同国で最大級の陸上風力発電事業となります。

本件は、当社にとって初のフィンランド共和国における陸上風力発電事業への参画であり、欧州では、アイルランド共和国での陸上風力、英国での2件の洋上風力に続く4件目の風力発電事業への参画となります。また本件は、日本の電力会社が同国の陸上風力発電事業へ単独で参画する初の案件となります。当社の欧州における風力事業の持分発電容量は合計31.8万kW^{※3}になり、また当社の海外事業における持分発電容量は、合計260.6万kW^{※3}となります。

当社は、引き続き再生可能エネルギー事業の拡大を目指すとともに、得られた知見をもとに、グローバルな社会課題（SDGs^{※4}）の解決に貢献してまいります。また、中期経営計画に掲げたように、海外事業を当社グループの重要な収益の柱とするため、これまでに培った技術力や経験を活用しながら、積極的に海外電力事業の拡大に取り組み、飛躍的な成長を目指してまいります。

※1：ピーパリンマキ陸上風力発電所を開発、運営するために設立された特別目的会社

※2：当社100%出資のオランダ法人の子会社

※3：商業運転前の参画案件を含んだ値

※4：持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）

以上

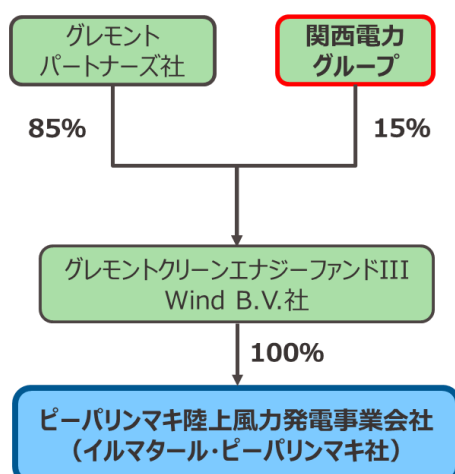
別紙1：フィンランド共和国陸上風力発電事業の概要

別紙2：当社の海外事業一覧

フィンランド共和国陸上風力発電事業の概要

- (1) 事業実施国：フィンランド共和国
- (2) 発電方式：陸上風力発電
- (3) 発電所・基数・出力：
 ・発電所：ピーパリンマキ陸上風力発電所
 （ヘルシンキの北約450km）
 ・基数：41基
 ・合計出力：21.14万kW
- (4) 出資者：
 ・関西電力グループ：15%
 ・グレモントパートナーズ社：85%

【発電所建設予定地】



<関係会社の概要>

- ◇ グレモントパートナーズ社
 代表者：最高執行責任者 ヨースト・ベルグスマ (Joost Bergsma)
 所在地：英国 ロンドン エンジェルコート1 エンジェルコート1 3階
 事業概要：再生可能エネルギー投資事業
- ◇ 関西電力株式会社
 代表者：取締役社長 森本 孝
 所在地：大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号
 事業概要：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業等

当社の海外事業一覧

＜稼動中案件：10件＞

件名	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分出力 (万 kW)
サンロケ水力 (1998.12～)	フィリピン	ダム式水力発電所	43.6	50%	21.8
ロジャナ火力 (2003.3～)	タイ	ガスコンバインドサイ クル・コジェネレー ション発電所	50.5	39%	19.7
名間水力 (2005.3～)	台湾	流込式水力発電所	1.7	24%	0.4
国光火力 (2006.12～)	台湾	ガスコンバインドサイ クル発電所	48.0	20%	9.6
セノコ火力 (2008.9～)	シンガポール	ガスコンバインドサイ クル発電所/石油火 力発電所	280.7	15%	42.1
ブルーウォーターズ火力 (2013.2～)	オーストラリア	石炭火力発電所	45.9	50%	22.9
ウェストデプトフォード火力 (2016.12～)	米国	ガスコンバインドサイ クル発電所	76.8	17.5%	13.4
エヴァレイアー陸上風力 (2017.11～)	アイルランド	陸上風力発電所	22.3	24%	5.4
ラジャマンダラ水力 (2019.5～)	インドネシア	流込式水力発電所	4.7	49%	2.3
ナムニアップ1水力 (2019.9～)	ラオス	ダム式水力発電所	29.0	45%	13.1
合計			603.2		150.7

＜開発（建設）中案件（6件）＞

件名	国名	概要	出力 (万 kW)	当社出資 比率	持分容量 (万 kW)
タンジュンジャティB火力 (2021～運転開始)	インドネシア	石炭火力発電所	214.0	25%	53.5
ヒッコリーラン火力 (2020～運転開始)	米国	ガスコンバインド サイクル発電所	100	30%	30.0
トライトンノール洋上風力 (2022～運転開始)	英国	洋上風力発電所	85.7	16%	13.7
モーレイイースト洋上風力 (2022～運転開始)	英国	洋上風力発電所	95.2	10%	9.5
ピーパリンマキ陸上風力 (2021～運転開始)	アイルランド	陸上風力発電所	21.14	15%	3.2
【参考】 セントジョセフ2号火力	米国	ガスコンバインド サイクル発電所	(71)	(20%)	(14.2)
合計			516.04		109.9

<送電事業の参画案件：1件>

件名	国名	概要	送電容量万kW	当社持分
ノイコネクト英独連系線 (2022年以降事業開始)	英国・ドイツ	国際連系送電線	140	18.3%

<配電・小売事業の参画案件：2件>

件名	国名	概要	設備概要	当社持分
ニュークラークシティ 配電・小売事業 (事業期間：2019～2044年)	フィリピン	配電網の構築、 保守および電力小売	(想定) 送電線、変電所、 地中配電線、 スマートメーター	9.0%
エレクトリシティ・ ノース・ウエスト社 (ENW社) 配電事業	英国	英国中西部で約 240万軒(約500 万人)の顧客への 配電事業	架空線 約12,700km、 地中線 約44,700km 変電所 96箇所	22.04%

